



古中だより「坂道」

〈めざす生徒像〉

- (知) 自ら学ぶ生徒
- (徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
- (体) 心身ともに健康な生徒

令和3年度 第25号

1月11日 発行

古殿町立古殿中学校
校長 上野 康生

～今日から3学期、学年締めくくりの学期を有意義なものに！～

保護者の皆様、地域の皆様そして生徒の皆さん、あけましておめでとうございます。

18日間の冬季休業が終了し、本日より3学期が始まります。3年生は高校受験そして卒業に向けて、1、2年生は進級に向けて、それぞれ意識を高くもって生活し、学年最後の学期を良い形で締めくくってほしいと思います。そこで、第3学期始業式では、生徒に3学期の重点項目として次のような話をしました。



〈目標をもった生活を送ること〉

- 目標は頑張るためのエネルギーになる。
- 「新年の目標」のように長い期間での目標でも良いし、例えば、3学期の目標とか1月の目標というように短い期間での目標でも良いので、目標をもつことが大切である。
- 受験を終えた3年生は、そこがゴールではないので、高校入学後のことなどを見据えて目標を立てること。
- 目標を決めるときには、今の自分が少し頑張れば達成できることにすると良い。
- 目標の達成に向けて多少嫌なことや辛いことがあっても簡単に逃げたりせず、立ち向かうたくましさや身を付けてほしい。
- 目標は頭の中で考えるだけでなく、目に見える形にすると良い。自分の決めた目標を教室や自分の家などに掲示して、常に意識して生活できるようにしてほしい。



〈あいさつや返事を今以上にしっかりと行うこと〉

- あいさつや返事は社会生活を送る上での重要なコミュニケーションである。
- 最近の集会などでは大きな声で返事をする生徒が増えてきたが、まだ十分とは言えない。
- あいさつについては、学校にいらっしゃったお客様から素晴らしいとの評価をいただいている。一方で、個人差も見られるので、学校全体としてあいさつの質を更に高めたい。
- あいさつは、あいさつ坂だけでなく、朝夕の短学活、授業の始まりや終わり、給食、廊下ですれ違ったとき、部活動など1日の中でたくさんの機会がある。その一つ一つのあいさつに心を込めて、「あいさつの古中」にふさわしいあいさつができるよう、一人一人しっかりと意識をしてほしい。



〈家庭学習や3年生の放課後学習をさらに充実させること〉

- 12月に行った学習に関するアンケート調査では約95%の生徒が毎日家庭学習に取り組んでいると答えており、ほとんどの生徒が家庭で学習する習慣が身に付いている。これはとても立派なことなので、今後は100%になることを期待したい。
- 今行っている家庭学習が学習内容の理解や成績の向上にどれだけつながっているのかということ振り返ってほしい。
- 「自分はここが分かっていないから、分かるように自主学習でもう一度整理してみよう」、「自分は問題の解き方はだいたい分かっているから、自主学習やワークでたくさん問題を解いて確実にできるようにしよう」、「今日授業中に調べてみたいことが見つかったから自分で調べてみよう」など、自分の学習の状況や理解度を振り返り、それに合った家庭学習をすることが大切である。
- 「分からないことをそのままにしない」、「分かったつもりになっているかも知れないので復習して確かめる」といったことは、学習における基本中の基本である。
- 中身の濃い家庭学習を行えば、自然とゲームやインターネットなどの時間が減り、学習の時間が増える。
- 「私のあゆみ」に、今日行う家庭学習の教科や内容の予定をちょっとメモ書きするというのも計画的な学習につながると思うので、ぜひ試してみてください。



以上、3つのことを教職員が共通理解を図り、3学期の重点目標としてお子さんに声をかけたり支援をしたりしていきます。ご家庭での生活に関わることも多々ございますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。なお、新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」の急速な感染拡大が懸念されます。学校としましても基本的な感染症対策を徹底して参りますが、ご家庭におかれましても十分な感染症対策を講じてくださいますようお願いいたします。